

## 果樹病虫害発生状況（4月～5月上旬）

### 1 リンゴうどんこ病

4月中旬の調査において、中通り、会津とも「ふじ」の花そう葉での発生は確認されませんでした。

### 2 モモせん孔細菌病

- (1) 4月中旬の調査において、春型枝病斑の発生ほ場割合は福島地域、伊達地域ともに平年並でしたが、5月上旬には発生ほ場割合が両地域とも平年より高く、伊達地域では発生程度の高いほ場も認められました（図1）。このため、注意報を発表しております（[注意報第1号](#)）。
- (2) 春型枝病斑が新梢葉への感染源となることから、本病の被害を軽減するために、早期に発見して除去することが重要です。特に、前年秋季に新梢葉での発生が多かったほ場では、春型枝病斑の発生量が多くなる傾向があるので、注意しましょう。

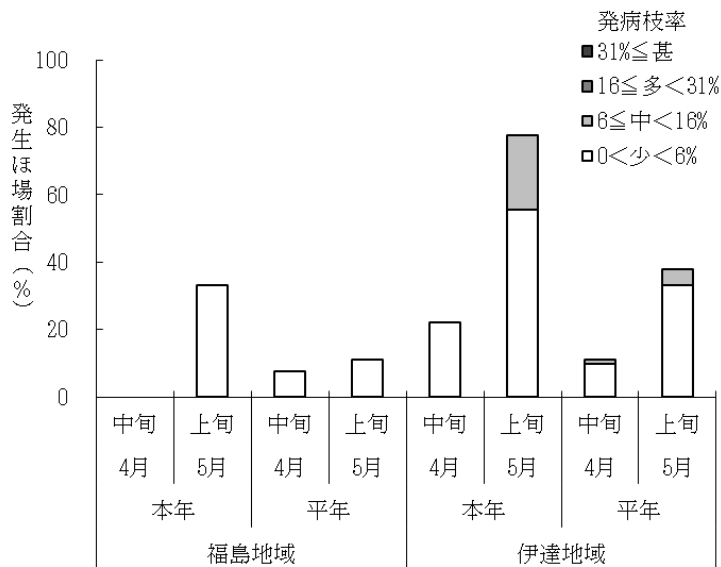


図1 せん孔細菌病（春型枝病斑）の発生状況

### 3 ナシ黒星病

ナシ黒星病の前年秋季における新梢葉での発生ほ場割合は、中通り北部で平年よりやや高く、中通り南部、浜通りでは平年よりやや低い状況でした。

花(果)そう基部の病斑は、見つけしだい除去し適切に処分しましょう。開花前後の防除を適切に行うとともに、病斑が確認できるようであれば散布間隔があきすぎないように留意し、十分量散布しましょう。

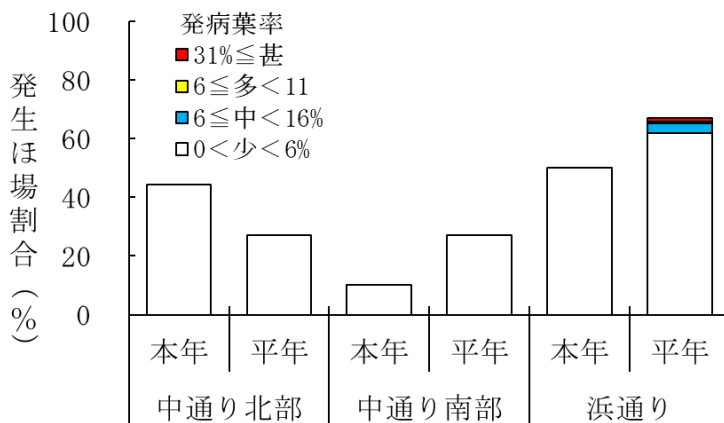


図2 ナシ黒星病の新梢葉での発生状況（平成30年9月）